

平成 25 年 1 月新入会

(敬称略)

正員 青木利晃, 明石 大, 浅井 徹, 阿部聡子, 飯屋貴裕, 池上一隆, 生駒大策, 石尾 隆, 石田武志, 井對貴之, 入江耕太, 上田千寿, 馬越健治, 大石岳史, 岡部 亮, 加嶋健司, 菊月達也, 北村 遼, 木下聡, 工藤敏巳, 久野綾子, 久場亮平, 蔵田真彦, 小林優太, 坂本覚仁, 坂本栄樹, 佐藤一道, 佐藤潤二, 白石賢二, 鈴木仁人, 竹内友美, 田村雅寿, 寺本 涉, 遠山 喬, 中村健二, 夏目充啓, 新津陽一郎, 沼田尚道, 長谷部弘毅, 羽瀨峻行, 林 大介, 樋口恵一, 樋野智之, 藤岡新也, 洞田慎一, 松本智佳子, 丸野茂光, 水谷光宏, 三井陽介, 本村玄一, 山口裕太郎, 萬 恭明, 若葉昌布 以上 53 名

学生員 赤津良平, 秋田谷朋紀, 秋山 剛, 阿部泰輔, Arifuzzaman Mohammad, 安藤孝俊, 飯尾亮真, 飯塚翔一, 板橋慎二, 稲森佑崇, 井上太貴, 井瀨貴章, 宇梶弘晃, 内田隼人, 大塚百合香, 小高 拓, 加賀城 充, 片桐雄大, 加納大暉, 川崎 望, 川島直揮, 菊池優介, 顧 飛, 黄 之峰, 黄 稚沐, 齊藤江里奈, 佐川美也子, 櫻井誠也, 佐藤耕平, 佐藤大輔, 澤野敬斗, 澤山 良, 石 凱, 塩谷郁弥, 穴戸英彦, 澁谷優貴, 蔣 睿, Dai Tianao, 高木俊彰, 竹田隆太郎, 立花裕也, Chew Chang Choon, 趙 琳, 辻 和良, 釣谷慶次, 鶴谷昌弘, 徳永章哲, 土肥慎介, 飛内雅之, 長岡陽太, 中田裕一, 中堤 純, 長藤和也, 中村茉莉也, 中山健太郎, 西 颯麻, 西片宏一, Baklan Poyraz, 長谷川靖恭, 濱田雄治, 林 健太郎, 広瀬 幸, 樊 星, 福田修太, 古川 隆, 古川雄治, 真島俊亮, 三浦慎平, 村山達哉, 毛利 亮, 姚 忻如, 山下翔大, 山野辺史久, Yunong Wu, 吉田 愛, 吉田竜二, 劉 祺, 劉 巍, 龍川卓也, 呂 陽 以上 80 名

海外会員

正員 Byung Joon Park, Carrson C. Fung, Changchun Zhang, Chien Chen, Eunjin Koh, Hatim M Behairy, Hoang Manh Thang, Hoseok Wey, Ignacio Enrique Zaldivar Huerta, Jun Kyun Choi, Luigi Boccia, Meng Yang, Mohsen Jalali, Ning Fu, Seong Tae Jhang, Sheng-Chou Lin, Sungwook Yu, Xingjun Zhang, Yaolong Qi, Ya-Yin Yang, Ying-Ping Chen 以上 21 名

学生員 Aekanun Thongtae, Bo Wang, Chan-Young Kim, Dandan Li, Di Wu, Hou Yuan Da, Hu Xi, Hung-Yi Chi, Hyukjae Jang, Jeongseok Seo, Jinguo Li, Jinho Choi, Jirabhorn Chaiwongsai, Jiuling Zhang, Li Guo Liu, Liu Si, Mahmoud Keshavarzi, Qiong Jia, Raymundo Buenrostro Mariscal, Seongmin Jo, Seewoo Jang, Seungkyu Baek, Shanwen Hu, Sun Ding, Sunisa Kunarak, Tajchai Pumpoung, Tao Chen, Te-En Wei, Warawoot Pacharoen, Xiaohong Sun, Xiaoli Wang, Xiaoyan Hu, Yan-Ting Lin, Yasar Amin 以上 34 名

死亡退会者

正員 池田裕司 正員 沢辺 弘
正員 扇 裕和 正員 神酒 勤
正員 押本愛之助 正員 宮本 修
正員 金田憲明 正員 森本雅子
学生員 岡崎俊暁

御逝去の訃音(11月16日~12月15日)に接し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

編集室

* 会誌編集委員会が終わって機械振興会館の外に出ると、今ですと目の前にきれいにライトアップされた東京タワーが見えます。何度見ても圧倒的な存在感です。「ALWAYS 三丁目の夕日」でも象徴的に登場したように、昭和 32 年から 33 年にかけて建設された東京タワーですが、当時のテレビ普及率は余り高くなかったと思いますので、建設途中を見た人は限られていたでしょう。一方、東京スカイツリーの建設は毎日のようにテレビで紹介され、徐々に高くなっていく様子を日本国中で見ることができました。我々はスカイツリーの建設という歴史の生き証人になれたのです。日本の電子情報通信技術の進歩と普及のたまものと言えるかと思います。

* 東京スカイツリーのデザインですが、いろいろと

考えられており素晴らしいと思いますがどことなく無機質な感じがします。機能美なのかもしれません。東京タワーの方がなぜか暖かみがあるような気がします。オレンジ色がそうさせるのかもしれません。建設当時のデザインからは若干の変更を経っていますが、今も変わらずその美しさを保っており、東京タワーは今でも第一級の観光地です。やっぱり私は東京タワーが好きです。

* 私の任期は 5 月までで、編集室を書かせて頂くのもこれが最後です。間もなく新体制へ引き継ぎです。今まで至らないところが多々あり、多くの方々に助けて頂きました。読者の皆様をはじめ、全ての方々へ感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

(編集特別幹事 石井孝明)